

中東遠総合医療センター 改革プラン（概要版）

平成29年3月

掛川市・袋井市病院企業団立中東遠総合医療センター

I 策定にあたって

平成26年6月「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律」の制定により、都道府県は地域の医療体制の将来像である「地域医療構想」を保健医療計画の一部として策定することになり、静岡県でも2次医療圏ごとの医療機能別必要病床数を定めた「静岡県地域医療構想」が策定されました。また、平成27年3月31日には総務省から公立病院を設置するすべての地方公共団体に、地域医療構想との整合が図られた新公立病院改革プランの策定を求め、新公立病院改革ガイドラインが発表され、地域医療の確保とそのために必要な公立病院経営の改革に向けた取り組みを推進しようとしております。

当院といたしましても、これら施策に沿い、掛川市・袋井市をはじめとする中東遠保健医療圏において必要となる医療提供体制の確保・充実と一層の病院経営の効率化を図るため、今般「掛川市・袋井市病院企業団立 中東遠総合医療センター 改革プラン」を策定し、取り組みを進めていくことといたします。

II 当院の果たすべき役割

(1) 地域医療構想を踏まえた当院の果たすべき役割

当院は、診療科の域を超えた最適な医療を多角的に展開しており、引き続き、当医療圏における高度急性期、急性期医療において基幹的役割を果たしていきます。

(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けた当院の果たすべき役割

当院は、高度急性期・急性期医療の分野を確実に担い、回復期・慢性期医療へのニーズに対しては各医療機関、介護施設等と連携することで切れ目のない地域包括ケアシステムの構築に寄与していきます。

在宅医療等（訪問看護・看取り）のニーズに対しては急性増悪時の救急搬送に対応するとともに、各医療機関・介護施設との連携を強化します。

また、地域医療支援病院として地域の医療従事者・介護施設職員に対する研修会や教育活動を展開し地域の医療介護水準を向上させるとともに、当院職員が地域医療や介護現場に対する理解向上を目的とした院内外の交流、研修を行っていきます。

その他、現在利用している「ふじのくにネット」の更なる活用について周辺医療機関と共同で検討・研究をしていきます。

Ⅲ 経営効率化

当院では、第7次静岡県保健医療計画において当院に求められている役割を踏まえ、5疾病5事業に対して取り組みを進めるほか、次の各施策に取り組むことで病院の機能強化と経営の効率化を図っていきます。

具体的な施策としては、「医師、看護師をはじめとする医療従事者の確保」、「(病院の質＝職員の質)を念頭にした人材育成の強化」、「地域医療連携の更なる強化と後方施設との連携促進」、「患者満足の向上に向けた接遇向上や待ち時間対策の継続的取り組み」、「市民の健康増進と健康管理に貢献するため人間ドック・健診機能の充実」、「収益増に向けたDPC係数向上と診療報酬改定に対する戦略的取り組みの強化」、「未収金対策と査定返戻の管理体制の強化」、「市民理解の促進と病院の質向上を図るための広報活動の強化」等を目標とし、部門ごとに毎年度定めている行動目標に反映し、目標達成に向け推進していきます。

Ⅳ 再編・ネットワーク化

当院は、掛川市立総合病院と袋井市立袋井市民病院が経営統合を行うことで再編され、開院しました。

また地域医療構想において当院は高度急性期・急性期機能の病床を有する地域の基幹病院として、掛川市・袋井市を中心とした当医療圏の医療提供体制の中核となることが求められています。そのため引き続き圏域内の医療機関・介護施設とのネットワーク化を強化していきます。

Ⅴ 経営形態の見直し

当企業団は、掛川市立総合病院と袋井市立袋井市民病院が経営統合することにより発足して3年余が経過し、病院を運営する土台が確立されたところにあります。

開院以降の病院運営は順調に推移しているため、当面は企業団立での運営を前提としますが、今後も当院及び公立病院を取り巻く状況を注視しつつ最適な経営形態についての検討を継続して実施していくものとします。

Ⅵ 実施状況の点検・評価・公表

本プランにおいて設定した各種の指標の達成状況は、各年度の進行管理の中で点検し、評価を行います。

評価にあたっては、企業団運営会議にて進捗状況を年2回報告し協議し、点検及び評価の結果は、当院ホームページにおいて年1回公表します。

〈収益の収支計画〉

(単位：百万円)

| | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 平成32年度 |
|-----------------------------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 1. 経常収益 | 16,347 | 16,531 | 16,644 | 17,042 | 17,368 |
| (1) 医業収益 | 14,771 | 14,835 | 15,111 | 15,502 | 15,816 |
| ア. 入院収益 | 9,765 | 9,854 | 10,006 | 10,269 | 10,480 |
| 病床数 (床) | 500 | 500 | 500 | 500 | 500 |
| 病床利用率 (%) | 87.0% | 87.8% | 88.4% | 89.1% | 89.7% |
| 入院診療単価 (円) | 61,500 | 61,500 | 62,000 | 63,000 | 64,000 |
| 延入院患者数 (人/年) | 158,775 | 160,235 | 161,390 | 163,003 | 163,752 |
| 年間診療日数 (日) | 365 | 365 | 365 | 366 | 365 |
| イ. 外来収益 | 3,949 | 3,965 | 4,026 | 4,148 | 4,253 |
| 1日あたり患者数 (人/日) | 1,250 | 1,250 | 1,250 | 1,250 | 1,250 |
| 外来診療単価 (円) | 13,000 | 13,000 | 13,200 | 13,600 | 14,000 |
| 延外来患者数 (人/年) | 303,750 | 305,000 | 305,000 | 305,000 | 303,750 |
| 年間診療日数 (日) | 243 | 244 | 244 | 244 | 243 |
| ウ. その他医業収益 | 792 | 805 | 809 | 815 | 814 |
| エ. 他会計負担金 | 265 | 210 | 270 | 270 | 270 |
| (2) 医業外収益 | 1,576 | 1,696 | 1,532 | 1,541 | 1,551 |
| ア. 他会計負担金 | 613 | 644 | 888 | 919 | 889 |
| イ. その他医業外収益 | 963 | 1,052 | 644 | 622 | 662 |
| 2. 経常費用 | 16,474 | 16,661 | 16,901 | 16,882 | 17,076 |
| (1) 医業費用 | 15,708 | 15,859 | 16,074 | 15,975 | 16,156 |
| ア. 職員給与と費 | 8,286 | 8,344 | 8,583 | 8,695 | 8,776 |
| イ. 材料費 | 3,289 | 3,272 | 3,475 | 3,609 | 3,728 |
| ウ. 経費 | 2,331 | 2,436 | 2,391 | 2,375 | 2,357 |
| エ. 減価償却費 | 1,716 | 1,719 | 1,538 | 1,202 | 1,202 |
| オ. 資産減耗費 | 8 | 8 | 7 | 11 | 9 |
| カ. 研究研修費 | 78 | 81 | 79 | 82 | 83 |
| (2) 医業外費用 | 766 | 802 | 828 | 907 | 921 |
| ア. 支払利息・企業債取扱諸費 | 246 | 245 | 242 | 235 | 228 |
| イ. その他医業外費用 | 520 | 556 | 586 | 672 | 693 |
| 3. 医業損益 1(1)-2(1) | △938 | △1,024 | △962 | △473 | △339 |
| 医業収支比率 (%) $2(1) \div 1(1)$ | 94.0% | 93.5% | 94.0% | 97.0% | 97.9% |
| 4. 経常損益 1-2 | △127 | △130 | △258 | 160 | 291 |
| 経常収支比率 (%) $1 \div 2$ | 99.2% | 99.2% | 98.5% | 101.0% | 101.7% |

〈資本的収支計画〉

(単位：百万円)

| | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 平成32年度 |
|----------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 1. 資本的収入 | 1,249 | 1,404 | 1,049 | 1,763 | 1,483 |
| 企業債 | 400 | 530 | 480 | 1,200 | 890 |
| 他会計出資金 | - | - | - | 23 | 24 |
| 補助金/他会計負担金 | 849 | 872 | 568 | 537 | 567 |
| 貸付金返還金 | 0 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 2. 資本的支出 | 2,015 | 2,179 | 1,468 | 2,195 | 1,945 |
| 建設改良費 | 678 | 716 | 580 | 1,360 | 1,021 |
| 企業債償還金 | 1,294 | 1,431 | 868 | 827 | 916 |
| 投資 | 43 | 31 | 20 | 8 | 8 |
| 3. 資本的収支差額 1-2 | △766 | △775 | △419 | △432 | △462 |
| (補てん財源使用予定額) | 766 | 775 | 419 | 432 | 462 |